

かめやま教育通信

第29回



発達段階に合わせて みんなで支え合う子育て ～エリクソンの発達理論から～

子どもの発達過程において、個人差はあるものの、多くの子どもに共通して見られる発達段階ごとの特徴があります。今回は、発達段階に合わせた0歳からの大切な「子育てのポイント」をまとめました。

気持ちを受けとめて

子どもの気持ちを受け止め、成長を見守りましょう。もし、親の思いと違うことをしたとしても、家族の思いや考えを丁寧に示し、子どもへの信頼感を伝えることが大切です。

自分を客観的に見る目を育もう！

青年期(12歳～)

思春期でもあるこの時期は、「自分がやりたいことは何なのか」、「将来どうやって生きていこう」と思い悩みながらアイデンティティ(自分らしさ)を確立する時期です。



友達とのつながりを大切に

人と関わり合う喜びや楽しさを感じる一方、努力してもうまくいかないと感じるときもあります。そういうときはさりげなく声を掛け、自信が持てるように努力している過程を認めましょう。

集団の中で勤勉性を育もう！

児童期(6歳～)

家庭から学校・地域へと世界が広がり、人との関わりが増えていきます。同年代の人と関わりながら、**勤勉性**(コツコツ努力して目的を達成する力)を身に付けていく時期です。



比べず、見守る

失敗をしかったり、ほかの子と比べたりすると、周りの目を気にして自発的に行動できなくなります。

子どもの「やってみたい」という気持ちを尊重し、挑戦している姿を見守りましょう。

遊びを通して積極性を育もう！

幼児期後期(3歳～)

保育所や幼稚園などで集団生活を送りながら、自分で考えて行動するようになり、**積極性**(何事にもチャレンジしていく気持ち)が高まる時期です。



しつけの中で自律性を育もう！

幼児期前期(1歳～)

トイレトレーニングや「いただきます」と言ってご飯を食べるなどのしつけを通して、**自律性**(自分をコントロールすること)を学んでいく時期です。

優しく、繰り返し

うまくできないからと頭ごなしにしかるのではなく、優しく、できるまで繰り返し教えましょう。また、失敗しないように先回りせず、子どもに任せてみましょう。そして、できたときは、大いに褒めましょう。



基本的信頼感を育もう！

乳児期(0歳～)

親や周りの人から世話をしてもらいながら、**基本的信頼感**(ありのままを受け入れてくれると感じる「他人への信頼感」と、自分を価値のある人間だと思える「自分への信頼感」)を育てていく時期です。

たくさんスキンシップ

おむつ替えやお風呂のときに、おなかに触れたり、マッサージをしたり、赤ちゃんの目を見て笑顔でたくさん話し掛けましょう。



子育てに悩んだときや子どもの成長について考えるときに、参考にしてください。子育ての悩みをひとりで抱え込まず、家庭、地域、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校など、みんなで支え合いながら、子育てしていきましょう。

問合せ 教育委員会学校教育課教育支援グループ (☎84-5076)